学生の皆さん

立命館大学薬学部
教学担当副学部長 土肥 寿文

実習開始にあたって

7月22日から実習が始まりますが（回生によって実習開始日は異なります）、薬学部では可能な限りの感染防止対策をとることとしております。薬学部が行う感染防止対策をお知らせしますので、実習までに確認をお願いします。また、実習に伴い学生の皆さんに留意していただきたいことを取りまとめましたので、こちらも確認の上、実習に臨んでください。なお、状況の変化により新たな対応が必要となった場合は、改めて連絡します。

<薬学部の感染防止対策>

○フェイスシールドの用意

学生の皆さん、TA（PhA 含む）および教員全員分のフェイスシールドを用意しています。フェイスシールドは秋学期の実習でも使っていただきますので、丁寧に取り扱いください。なお、破損した場合は薬学部事務室まで申し出てください。

○消毒液の設置

実習室入室前には手指を消毒してもらいます。教員の指示に従い手指を消毒した上で、実習室に入室してください。

○非接触型体温計での体温測定

皆さんの体温を測定し、37.5度以上の発熱がある場合は実習への参加は認めません。ただし、実習担当教員の特別の指示がある場合は除きます。

<学生の皆さんに留意いただきたい事項>

○発熱している場合や体調不良の際は実習を休むこと

起床時に体温を測定し、37.5度以上の発熱がある場合や発熱はしていないものの体調不良の場合は、実習に参加しないでください。また、同居のご家族に37.5度以上の発熱がある場合や体調不良の場合も、実習に参加しないでください。以上の理由で実習に参加できない場合では、レポート提出等の代替措置をとることで成績評価上、不利益が発生しないようにします。

○登校時は必ずマスクを着用すること

必ずマスクを着用して登校してください。万が一マスクを忘れた場合は薬学部事務室に申し出てください。ただし、在庫に限りがありますので、マスクはご自身で用意してください。

○公共交通機関利用時は会話を控えること

久しぶりに友達と会うことになるので会話したい気持ちは分かりますが、公共交通機関では会話を控えてください。特に、近江鉄道バス車内では会話を控えてください。

○実習の際は、教員の指示に従うこと

実習により、必要に応じて個別の対応をとる場合がありますので、教員の指示に従うようにしてください。

以上